

ごあいさつ

いつもあたたかいご支援、ご声援を賜り、誠にありがとうございます。

私、若村麻由美は、NHK 連続テレビ小説『はっさい先生』でデビューし、来年の秋、俳優としての活動 40 周年を迎えます。

今日まで歩みを重ねてこられましたのは、お仕事を一緒にさせていただいた皆様、そして応援して下さった皆様のおかげです。改めまして、心より御礼申し上げます。

また、私自身の人生の節目を前に今、16 年間お世話になりました所属事務所、株式会社トライストーン・エンタテイメントとの契約を終了し、新たな一步を踏み出すことにいたしました。

山本又一朗会長にお声がけいただいて以来、長きにわたりお世話になり、小栗旬社長をはじめ、スタッフの皆様から多くのことを学ばせていただきました。支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

この冬は、デビュー以来初めての長いお休みをいただき、役を離れて旅に出ます。

「役者は、役をとったただの者」と申します。ただの者として、さまざまな景色に身を置きながら、来し方行く末に思いを巡らせる時間にしたいと思っております。

そして、春の訪れとともに、新たな作品に向けて歩みを進めてまいります。

これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和 8 年 10 月吉日

若村麻由美

18 年ほど前に、「好きな女優は誰か……？」と他愛のない話で盛り上がっている若手俳優 12 人の飲み会で、ぼーっと聴いていた私に突然話が振られて、「俺の若い頃？」「んー…さおとめみどり…」と答えたところ、一同「はあ？」となりました。

その名は、彼らが生まれた頃の 1987 年、NHK の朝ドラ『はっさい先生』でデビューした若村麻由美さんの役名でした。

彼女と仲の良い若手俳優がいて、彼女は訳もわからず夜 10 時のレストランに呼び出され、私は初めて若村さんに会いました。そして 2 年後に、トライストーンに来ていただくことになったわけです。

作品に対する思い入れが人一倍強く、たくさん意見をやりとりして、納得いくまで役の居場所を突き詰めていく若村さん……。あなたは、生き方においてもそうです。きっと、女優としての生き方の先を見つめての結論だと思います。まだまだ頑張れる若さです。この先をどう魅せてくれるか……。

彼女は旅に出るそうです。私は、極めて親しい傍観者として、友人として、これからの若村麻由美を楽しみにしていきます。

株式会社トライストーン・エンタテイメント
代表取締役会長 山本又一朗